

きつつきの会 (川俣自治会)

きつつきの会が、日本赤十字社の協力のもと園芸療法講座(全2回)を開催しました。講師は、樹木医で福島空港公園事務所長も務める鈴木俊行先生。6月の「苔玉づくり」に続き、23人が「寄せ植え」に挑戦しました。鈴木先生は、目からウロコの栽培テクニックを話術巧みに伝授。参加者は植物と向き合う時間をリラックスして楽しみました。



ユーモアたっぷりのトークで大爆笑。植物も人も元気になる鈴木先生(中央)



ビニールを掛けたカゴを並べて。室内でも園芸が楽しめます



長正文子さん(天久保・外内)

好きなんです。村の寄せ植え講座も受講しました。村に戻ってからもできたらいいですね

7/20

7/2



7/21

7/12

旧飯野小・旧明治小応急仮設住宅

飯野町団地



最前列が学生劇団「虹」の皆さん。ミュージカルの熱気が残る会場で笑顔の記念撮影



観客が劇に参加する場面も。一体感が生まれます

「飯野・飯館ミニ交流会」が飯野地域福祉センターで開かれました。福島市の「笑顔つなぐまち交流事業」を活用し、飯野町婦人会と自治会役員らが協力して企画しています。今回は、昨夏にも好評だった国際基督教大学(ICU)の学生劇団「虹」を招き約110人がミュージカルを観賞。熱演に心を動かされ涙する人もありました。観劇後は会食し交流を深めました。

大久保・外内行政区

大久保・外内行政区が記録集を制作します。地区の旧跡や伝統、暮らしぶりの移り変わりを後世に伝えようと、行政区の役員を中心に編集委員会が組織されました。また、編集作業には、福島大学から守友裕一特任教授ら4人の有識者の協力を得ます。この日は福島大学構内の施設で編集会議が開かれ、委員らが取材の進め方などを話し合いました。



地区のならわしや伝承を知る人の記憶は地区の宝です

かーちゃんのカ・プロジェクト協議会ふくしま



青空の下で一休み。畑談義に花が咲きました

NPO法人かーちゃんのカ・プロジェクトふくしま(略称かープロ/福島市松川町)が、農作業を通じて心に活力を与える「心の復興」事業に取り組んでいます。この日はカボチャ「いいたて雪っ娘」の畑作業に8人が集いました。また、農作業時に効果的な体操を作業療法士から教わったり、摘み取った脇芽を「あぶくま茶屋」で調理したりして、1日をいきいきと過ごしました。

次回予告!

「いいたて雪っ娘」のデベソ取りとマット敷き

8月9日(火)午前9時から
(あぶくま茶屋 午前8時30分集合)

持ち物:長靴・軍手

問い合わせ ☎ 024-567-7273
(あぶくま茶屋/かープロ事務局)



青空の下、作業の前後にそれぞれ効果的な体操を教わりました



「飯館はきっといい風が吹いているね…」と故郷を思い出しながら



今後は集会や地区の広報紙などで資料の提供を呼びかけていきます



思い出話も尽きません。右が長正増夫区長、左が青木公男編集委員



編集作業をサポートする小松知未特任准教授(写真手前)